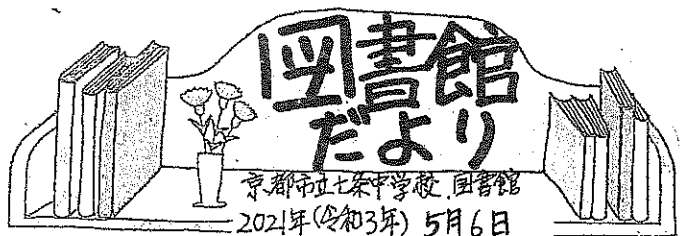


愛鳥週間(5月10日~16日)

図書館でも鳥に関する本を集めてみました。ぜひ図書館の『鳥のコーナー』をのぞいて見てくださーい!



トリノトリビア (監修・鳥類学者 川上和人)

本の中の「むくじ」より

- カラスは遊んで生き残る。
- スズメの寿命は一年以内?
- カワセミは魚をさしだしプロポーズ。
- 鳥の目はあんがい鳥目じゃない。
- ツバメは人間のそばで子育てしたい。

鳥はなぜ鳴く? ホーホケキョの科学 (松田道生)

(「はじめに」より). 鳥たちはなぜ鳴いているのでしょうか。実は、鳥ほどよく鳴く生き物はいないのです。人間と同じように、鳥たちも鳴き声でコミュニケーションをとったりしています。鳥の声を知ることで見える世界が変わり、いろいろなことに興味をもつきっかけになってくれたら、うれしく思います。

フクロウは
だれの
名を呼ぶ
(ジーン・クレイグ
ヘッド・ジョージ)

<内容紹介>
アメリカ北西部の
原生林、マダラ

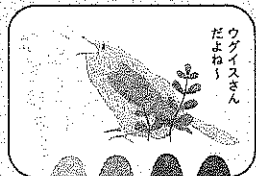
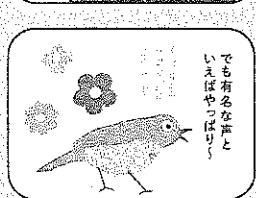
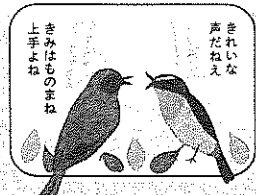
フクロウは
だれの名を
呼ぶ



鳥はなぜ鳴く?

ホーホケキョ
の科学

松田道生・著
中村文・絵



理論社

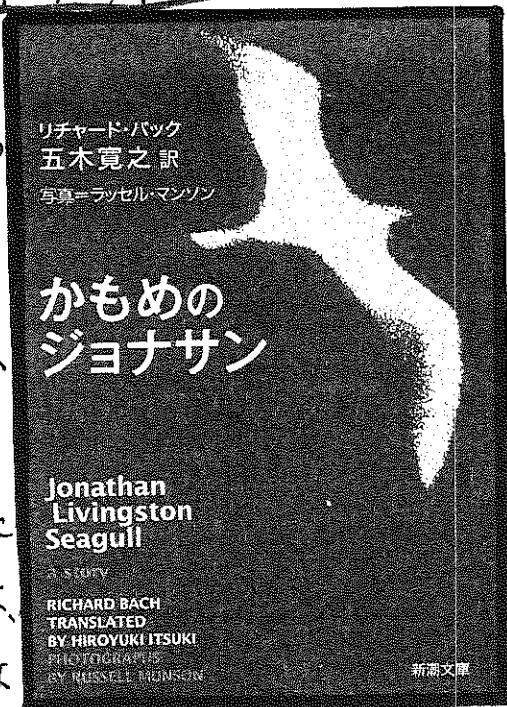
フクロウが絶滅の危機にひんしていた。木こりは木を切ることを禁じられ、父さんは仕事を失った。ぼくは思った—— みんなフクロウのせいなんだ!

かもめのジョナサン

(リチャード・バック)

(ストーリー)

重要なのは食べる
ことではなくて、
飛ぶことだ。
いかに速く飛ぶか
ということだ——
群れを追放された
異端のジョナサンは、
強い意志と静かな
勇気をもって、今日もスピードの限界に挑戦する。
夢と幻想のあふれる現代の寓話。



渡り鳥 地球をゆく

(長谷川 博)

＜内容紹介＞

2.4メートルの翼を
広げ、太平洋をまたに
かけて飛ぶ国際保護
鳥アホウドリ。今世紀
半ばには絶滅の危機
を迎えたこの鳥に魅せ
られた著者は、懸命の
活動を開始する。
他にシベリアのコハク
チョウ探訪記、キセキ



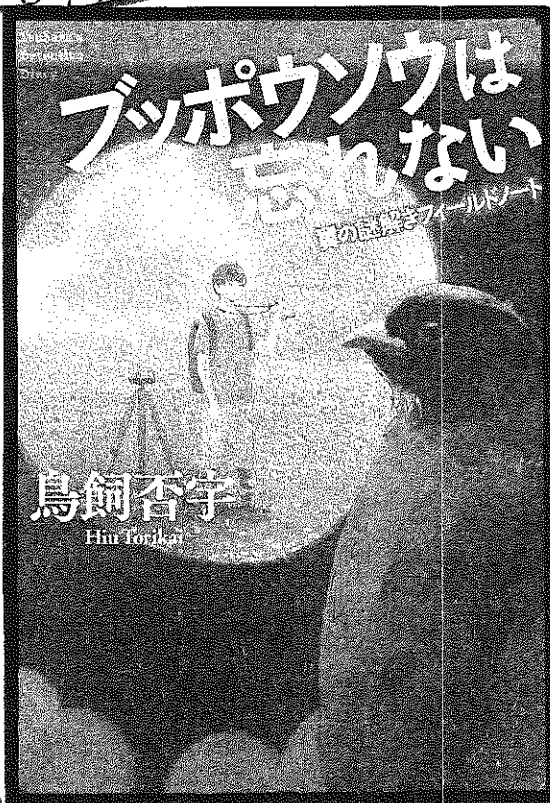
レイの観察なども収録。地球が人間だけのものでは
ないことを、あらためて考えさせる本。

ブッポウソウは忘れない

(鳥飼 否宇)

(ストーリー)

鳥の研究室に所属
する大学生の野鳥翼。
平凡な大学生の彼の
周りでは、ちょっと
不思議な事件が
まき起る。
鳥たちもまき込んで、
へっぽこな推理を
くり広げる翼。
そんな中、彼の片思い
中の先輩・室見春香が突然姿を消して——
個性豊かなキャラクターがくり広げる、
鳥多め、ユーモアミステリー!!



はじめてのバードウォッチング

(松田道生)

「エピソード」より 著者・松田道生。この本を読んでもくれたみんなが「バードウォッチングで楽しそう」とか、「野鳥って、すばらしいんだなあ」と思ってくればとてもうれしいです。みんな自然の中に飛び出して、思いっきりバードウォッチングを楽しんでみよう。